

精神保健論	2年・前期	1単位	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32120302

1. 授業のねらい・概要

個人、家庭、社会、医療における精神保健の意味・目的と精神保健の維持増進を支援するシステムについて理解する。

2. 到達目標

1. こころの構造と機能が理解できる。
2. ライフサイクルにおけるこころの発達と危機が理解できる。
3. 社会（家庭、学校、職場など）における精神保健が理解できる。
4. 医療現場における精神保健（リエゾン精神保健活動）が理解できる。

3. 授業の進め方

講義・演習を中心に進める。

4. 授業計画

1. 精神保健とは
2. こころの構造と働き
3. 欲求と防衛機制
4. こころのストレスと危機状況
5. 人生の成長と発達
6. 人生各期の発達危機①「乳児期」「学童期」「思春期」・「青年期」
7. 人生各期の発達危機②「成人期」「中年期」「老年期」・リエゾン精神看護
8. まとめと試験

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度（10%）、定期試験（90%）を総合して評価する。

6. テキスト・参考文献

系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院
 系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

テキストの予習（30分程度）をしておくこと。

8. 受講上の留意事項

授業中の態度（10%）、定期試験（90%）を総合して評価する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。